



各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡
 (コード番号 5216)
 問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 柴 田 哲
 電 話 0228 - 32 - 5111

平成 27 年 12 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 8 月 12 日に公表いたしました平成 27 年 12 月 期 通 期 の 業 績 予 想 (連 結 ・ 個 別) を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

1. 平成 27 年 12 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 27 年 1 月 1 日 ~ 平 成 27 年 12 月 31 日)

〔連結〕(平成 27 年 1 月 1 日 ~ 平成 27 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------------|--------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 7,300 | 240 | 160 | 240 | 14 円 87 銭 |
| 今回発表予想 (B) | 5,800 | △590 | △670 | 100 | 6 円 19 銭 |
| 増減額 (B-A) | △1,500 | △830 | △830 | △140 | — |
| 増減率 (%) | △20.5 | — | — | △58.3 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月 期) | 6,818 | △158 | △280 | △360 | △22 円 36 銭 |

〔個別〕(平成 27 年 1 月 1 日 ~ 平成 27 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------------|--------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 4,130 | △150 | 50 | 3 円 10 銭 |
| 今回発表予想 (B) | 2,900 | △980 | △145 | △8 円 98 銭 |
| 増減額 (B-A) | △1,230 | △830 | △195 | — |
| 増減率 (%) | △29.8 | — | — | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月 期) | 3,936 | △482 | △609 | △35 円 24 銭 |

2. 修正の理由

当初の計画では、[ガラス基板事業]を主とする個別の業績は、中小型液晶ディスプレイ向けの売上は過去の実績において下期に偏重する傾向があったことから当期においても下期においては緩やかに回復すると期待し計画しました。8月12日には、競争の熾烈化により顧客環境の変化が著しく、上半期において受注が大きく低迷したことにより、通期の業績予想を修正いたしました。当該修正後の予想値においても下期における受注増加傾向を織り込んでいました。結果としては、下期においても当該事業における受注は回復せず、さらに顧客の経営戦略の変更により当社の注力したタッチパネル方式の生産が海外へシフトされ、売上高・利益ともに前回予想を大きく下回りました。また、連結の業績は、[精密研磨布事業]は堅調に推移するも、[ガラス基板事業]の落込み・不振が大きく、個別同様に前回予想を大幅に下回る決算を余儀なくされました。なお、当期純利益には本日公表の「連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益発生に関するお知らせ」で予定しております株式会社FILWELLの株式譲渡に伴う繰延税金資産の計上約786百万円の影響を含んでおります。

これらの結果、連結売上高は前回予想に対し1,500百万円減の5,800百万円となる見込みであります。また、営業利益は前回予想に対し830百万円減の△590百万円に、経常利益は同830百万円減の△670百万円に、当期純利益は同140百万円減の100百万円となる見込みであります。

以上

| |
|---|
| 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。 |
|---|